

カーボンニュートラルへの挑戦<⑥>



環境ビジネスを通じて社会に貢献

川瀬産業（貝塚市）

川瀬産業は1966年の設立以来、環境保護活動を経営理念に掲げる。森林保護やオゾン層破壊による地球温暖化など環境破壊への懸念が高まる中、資源の有効活用を重要なテーマとして位置づける。

なかでも、廃プラスチックのリサイクルは、ダイオキシン排出による健康被害や環境汚染の深刻化に伴う焼却規制強化により、年々高度な技術が求められている。

同社は廃プラスチックを貴重な有効資源として位置づけ、マテリアルリサイクルに特化した事業に取り組む。

独自の技術により、プラスチックリサイクル原料を100%使用したオリジナルブランド「リプラギ®」を開発。木材の代替商品として、工業用の角材から公園のベンチまで幅広く対応している。

同社の川瀬幸久代表取締役社長は「今後もリサイクル製品の開発を積極的に推進し、循環型社会に貢献していきたい」と意気込む。

（貝塚商工会議所）

詳細はこちら▶

